



最後まで頑張れる運動会 ～姿勢が光る閉会式～

10月28日(土)の運動会が終わり2週間が過ぎました。今年は、4年ぶりに各家庭の人数制限をなくし、来賓、保護者、祖父母の皆様、地域の方々の温かい声援を受け、子どもたちの、元気いっぱいの姿を見ることができました。ある来賓の方からは、「最高の運動会でした。」という感想をいただきました。

運動会を終え日にちが経ちました。たくさんの心に残る場面がありましたが、その中でも私は、閉会式で子どもたちの姿が強く印象に残っています。閉会式は、全ての競技が終わり、応援、競技の結果発表、講評等を行います。その間、子どもたちは、黙って座ったまま話を聞くこととなります。自分たちの出番が終わった開放感や全力で頑張った疲れから、足遊び、手遊びをしたり、下を向いたりする子どもたちが出てくることも多くあります。しかし、下の写真のように本校の子どもたちは、きちんと座り、顔を上げ、落ち着いた態度で閉会式に参加していました。閉会式は、決して目立つ場面ではありません。ただ、この最後まで頑張れる子どもたちの姿から、筑後小の誇りを強く感じました。このような姿は、学校だけの指導でできるものではありません。ご家庭での子どもたちへの接し方がこのような姿の基盤をつくっていると思います。本当にありがとうございました。



閉会式での子どもたちの姿

自分の決意を伝える ～青少年健全育成のための意見発表会～

11月5日(日)令和5年度の青少年健全育成のための意見発表会がサザンクス筑後で行われました。小学生は、「伝記を読んで思うこと」というテーマで市内小学校11校の代表の子どもたちが自分の考えを発表してくれました。

筑後小学校からは、6年生の平川 優さんが「村上選手のプレッシャーへの考え方」という題名でプロ野球ヤクルトスワローズの村上選手の野球に対する考え方や姿勢をもとに、これまでの自分の姿を見つめ、これからの野球への向き合い方について自分の決意を発表してくれました。多くの聴衆を前に、動じることもなく、落ち着いた口調で自分の考えを述べる姿は、とても頼もしく思いました。



6年 平川 優さん

土地区画整理事業が始まります

運動場南側の牛門から運動場東側の休耕地の土地区画整理事業が始まります。早ければ11月下旬から、住宅地や生活道路の整備等の工事が令和6年度の12月位まで約1年間行われます。約50戸程度の住宅地が分譲される予定です。

子どもたちの安全な登下校や学習等、子どもたちの生活に影響が出ないよう業者の方とは、定期的に協議を行っていきたくと考えています。

【校長のつぶやき】

先日、近くのお店に行ったら古い扇風機を目にしました。今と違い風の強さは、四角のボタンを押して調整していきます。私が小学生の頃見ていた物と同じような物なので、40年以上現役で働いていると思います。小学生と言えば、昔は、破れた服や靴下に当て布をして破れをふせて着ていたことを思い出しました。多くの友だちがそうしており、珍しくも恥ずかしくありませんでした。今では、そんな服や靴下姿の子どもを見ることはありません。

「まだまだ使える」、「捨てるのはもったいない」、それが当たり前の時代だったことを懐かしく思いました。

チューリップの球根を頂きました

筑後市のライオンズクラブ様からチューリップの球根を頂きました。

毎年この時期に市内の各小学校に寄贈してもらっています。この球根を今の1年生が植え、来年の春頃には綺麗な花が咲き、新しい1年を迎えてくれることを楽しみにしています。



寄贈された球根